

Zoomでグループワークをしたい！ブレイクアウトルームの使い方・便利機能・注意点をご紹介します

2020.11.30

Zoom.style ホーム / 活用ノウハウ

社内ミーティングやイベントなどを、Web会議ツール「Zoom」を使ってオンライン上で開催することが当たり前になってきました。

主催者としてミーティングを開催することはできても、Zoomでグループワークを行うにはどのようなすればよいのか、と悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。

今回はZoomでグループワークができる「ブレイクアウトセッション機能（ブレイクアウトルーム）」の使い方、注意点、Zoomの便利機能、一緒に使うと便利なツールをご紹介します。

目次

[非表示]

1. Zoomでグループワークを行う方法
2. グループワークを行う際に便利なZoomの機能
3. 一緒に使うと便利なツール
4. オンラインでグループワークを行う際の注意点
5. まとめ | ブレイクアウトルームをフル活用して効果的なグループワークを

Zoomプロプランの最低価格に挑戦中！ 月額換算1,600円/IDから！

Zoomを導入するなら低価格＆充実したサポートのバイキューブで。

手軽に導入できるプランから、安心のサポート付きプランもご用意。

請求書払いにも対応！ぜひお問い合わせ・ご相談ください。

プラン・価格の詳細はこちら

※Zoom社による直販を除く再販（リセラー）サイトにおいて公表されている価格との比較による

Zoomプロプラン 最低価格に挑戦！

月額換算 **1,600円** /IDから

※Zoom社による直販を除く再販（リセラー）サイトにおいて公表されている価格との比較による

プランの詳細はこちら

満足度91%！
プロ講師が教える、
Zoom導入検討者必見セミナー

オンラインで実施中

※2020年9月開催セミナーの当社統計

開催日・詳細はこちら

Zoomでグループワークを行う方法

大人数で行うオンライン会議で、うまく議論が深まらなかったり、全員に発言権が行き渡らず困ったりすることがあるかもしれません。

従来のWeb会議ツールではグループワークを行うことが難しかったのですが、Zoomであれば簡単にグループワークを実施できます。

Zoomでグループワークを行うには、「ブレイクアウトセッション機能（ブレイクアウトルーム）」を使ってください。

ブレイクアウトルームを使うとグループワークを行える

ブレイクアウトルームとは、ZoomでのWeb会議において、グループを分けてミーティングを実施できる機能です。

例えば、Zoomミーティングのホストが「これから14時30分までチームに分かれてアイデアを出し合ってください」といった指示を出した場合、Zoomミーティングの参加者を任意の人数でグループ分けし、それぞれの小部屋でディスカッションできるようになります。

ブレイクアウトルームに分かれて議論している最中は、他のチームからは話している内容やチャットに書き込まれた内容は分かりません。

ホストは自由にブレイクアウトルームを行き来して様子を見に行ったり、全体に対してチャットメッセージを送ったりできます。2020年9月21日のアップデートにより、設定をすれば参加者もブレイクアウトルームを自由に入室退室できるようになっています。

こうしたブレイクアウトセッション機能を活用することで、より社内ミーティングが活性化したり、イベントでの交流が深まったりするでしょう。

ご不明点はございますか？

ブレイクアウトルームの使い方

ブレイクアウトルームを使うためには、事前設定と開催前の準備、開催中にホストができることを押さえておきましょう。

事前設定方法

ブレイクアウトセッション機能を利用するには、管理画面にて事前設定が必要です。

〈ブレイクアウトセッション機能の利用設定〉

- 1 WebブラウザからZoomにサインイン
- 2 「設定」 > 「ミーティング」を選択
- 3 「ブレイクアウトルーム」を有効にする

ブレイクアウトルーム

ホストはミーティング参加者を別々に小さいルームに分けることができます



☐ スケジューリング時にホストが参加者をブレイクアウトルームに割り当てることを許可する



事前設定は、スマホアプリやPC上のZoomアプリからではなく、Webブラウザからの設定が必要です。

ミーティング開催前・開催中の設定方法

Zoomミーティングを開催するときには、開催前に準備したり、開催中にセッティングしたりできます。

ブレイクアウトルームに参加者を振り分ける作業を、Zoomミーティング開催中に行ってもよいですが、開催前から振り分けておくことも可能です。事前に参加者が分かっている、より効果的にグループワークを行いたいときにおすすめです。

〈ブレイクアウトルームの事前振り分け設定〉

- 1 Zoomにて「ミーティングをスケジュールする」
- 2 「ブレイクアウトルーム事前割り当て」をONにする
- 3 「ルームを作成」をクリックし、参加者を割り振る

ミーティングオプション

☐ ホストの前の参加を有効にする 5分
開始時間の前

☐ 入室時に参加者をミュートにする

☒ ブレイクアウトルーム事前割り当て
[+ ルームを作成](#) [↑ CSVからのインポート](#)

ブレイクアウトルーム割り当て

1 ルーム, 0 参加者

メールを追加することにより、ブレイクアウトルームに参加者を割り当てます。最大50のブレイクアウトルームを作成し、最大で合計200名の参加者を割り当てられます。

Rooms	+	ブレイクアウトルーム 1]
ブレイクアウトルーム: 0		Add participants

Zoomミーティング開催中にブレイクアウトルームを割り当てすることもできます。

〈ブレイクアウトルームの開催中振り分け設定〉

- 1 Zoom画面下部の「ブレイクアウトルーム」を選択
- 2 ブレイクアウトルームの数を指定し、「自動で割り当てる」「手動で割り当てる」「参加者によるルーム選択を許可」を選択
- 3 「すべてのルームを開ける」でブレイクアウトルームへ参加者を招待する

1

つのブレイクアウトルームを作成

- ☒ 自動で割り当てる
- ☐ 手動で割り当てる
- ☐ 参加者によるルーム選択を許可

ルームあたり0の参加者

作成

ブレイクアウトルーム-未開始

▼ ルーム1

割り当て

▼ ルーム2

割り当て



再作成

ルームを追加

すべてのルームを開ける

▼ ルーム1

割り当て

▼ ルーム2

割り当て

- ☐ 参加者によるルーム選択を許可
- ☒ 参加者がいつでもメインセッションに戻るできるようにします
- ☐ 割り当て済みの全参加者を自動でブレイクアウトルームに移動
- ☐ 30 分後にブレイクアウトルームを自動的に閉じる
- ☒ ブレイクアウトルームを閉じた後のカウントダウン
- カウントダウンタイマーを設定: 60 秒



再作成

ルームを追加

すべてのルームを開ける

開催中に参加者を割り当てる際、詳細設定も可能です。詳しくは後ほどご紹介します。

ブレイクアウトルームを使う際の注意点

ブレイクアウトルームを使う際の注意点をご紹介します。誤った理解のままでは、せっかくブレイクアウトルームを活用してグループワークができたとしても、大切な議論やアイデアが消えてしまう可能性があります。

デフォルトではホストのみが参加者の割り当て可能

ブレイクアウトルームに参加者を割り当てるのは、デフォルトでは、ホストのみです。共同ホストは、ホストによって割り当てられたブレイクアウトルームに参加する場合にのみ、ブレイクアウトルームに入退室できます。

録画できるのはクラウドであればメインルームのみ

ブレイクアウトルームを実行中、録画・録音で記録が残されるのは、以下の条件です。

ご不明点がございますか？



各ブレイクアウトルームで行われている会話の様子を記録したい場合は、複数参加者でローカル記録が可能なので、それぞれの代表者を一人決めてローカル記録を行うとよいでしょう。

ブレイクアウトルームの定員は最大500人

ブレイクアウトルームには定員が定められています。

- 20ルーム：最大500人
- 30ルーム：最大400人
- 50ルーム：最大200人

大規模なイベントやミーティングを開催する際には注意しておきましょう。

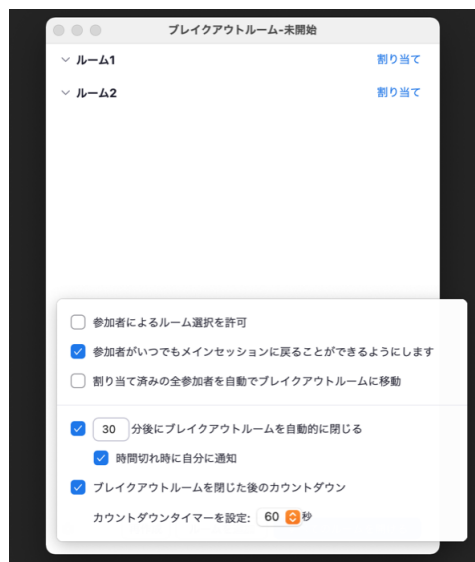
グループワークを行う際に便利なZoomの機能

Zoomミーティングで「ブレイクアウトルーム」を活用してグループワークを行うのであれば、使いこなしておきたい便利なZoomの機能が5つあります。

1. タイマー設定機能

タイマー設定機能は、ブレイクアウトルームを自動的に閉じるタイミングを指定し、自動的にカウントダウン表示ができる機能です。

ブレイクアウトルーム作成時に設定できます。いつの間にか時間が経ちすぎていたといったミスをなくすることができます。



2. メッセージの送信機能

ブレイクアウトルームを実施中、メインのルームでチャットを送信しても個別のブレイクアウトルームには届きません。

そこで活用したいのが、全ブレイクアウトルームへのメッセージ送信機能です。ブレイクアウトルーム進行中に「全員にメッセージを放送」を押して入力し「ブロードキャスト」すれば、指示やメッセージを送信できます。



3. ホストの訪問機能

ホストは各ブレイクアウトルームを自由に行き来できます。

グループワークの進捗を確認したり、サポートとして見回りをしたりするときに便利です。複数人で訪問したい場合は、ホストがあらかじめ担当者を「共同ホスト」として指定しておけば、自由に入退室ができます。

4. ヘルプ機能

各ブレイクアウトルーム内で発生した質問や相談事を、ヘルプ機能を使って参加者がホストに知らせることができる機能があります。

「ヘルプを求める」というボタンをクリックすることで、ホストに通知が届きます。

5. ホワイトボード機能

グループワークに欠かせないのが、目に見える形で議事録を残せるホワイトボード。オンライン会議では難しいと思われるかもしれませんが、Zoomにはホワイトボード機能が備わっています。

Zoom画面下部の「画面の共有」を選択すると、共有するウィンドウまたはアプリケーションを選択する画面が表示されます。その中から「ホワイトボード」を選択します。

ホワイトボードには、ホスト・参加者問わず誰でも書き込めるようになっています。ホワイトボードに記入した図や文字は、画面のまま保存できます。

一緒に使うと便利なツール

ここからはZoom以外のツールで、Zoomでのブレイクアウトルームで使うと便利なツールをご紹介します。より議論や交流を深めたいときに大活躍します。

情報共有できるドキュメントツール

ご不明点はございますか？



共有ドキュメントツールを活用して作成すれば、Zoom上で画面共有することも簡単にできますし、何より会議が終了したあとにすぐにリンクで共有できます。

オンライン用アイスブレイクツール

いきなりグループワークが始まって、参加者が初対面の場合、なかなか話し出すことができないこともあるでしょう。

そんなときはオンライン用のアイスブレイクツールを使ってください。

wevox values card onlineなど、事前のアイスブレイクとして相互理解を深めることができるようなツールがあります。

事前にお互いのことを知ることができれば、心理的安全性が高まり、その後のディスカッションの質も向上するでしょう。

ツールを使わずとも、自己紹介の仕方を工夫したり、嬉しいこと・新しいことを一人ずつ話したりと、コンテンツに工夫を凝らすことでアイスブレイクを行うこともできます。

オンラインでグループワークを行う際の注意点

オンラインでグループワークを行う際、どんなところに気をつければよいでしょうか。Zoomに備わっている機能を使ってカバーできます。

発言しやすい雰囲気と環境を作りましょう

オンライン上では全員に発言権があるものの、誰かが一方的に話し続けてしまうようなこともありますし、逆に誰も発言しないこともあります。

そんなときに備えて、まずはアイスブレイクを実施することを検討してみてください。Zoomでブレイクアウトルームに分かれる前に、ホストから「ブレイクアウトルームに入ったら、まずは自己紹介をしてチーム名を決めてください」といったように具体的な指示を出しておく、ルームごとに分かれたあとスムーズに会話が進みやすくなります。

また、Zoomにはチャット機能や挙手機能があります。一人が代表して発表しているときに、チャット上でリアクションを送ったり質問を書き込んだりすることもできます。大人数での開催ではいきなり話し出すことが難しい可能性もありますので、発言したいときは「挙手」ボタンを押してもらって、ホストが指名するののも一つの手です。

こまめなフォローを行いましょう

Zoomブレイクアウトルームでは、突然グループに振り分けられて、何を話せばよいのか分からなくなったり、議論をする中で疑問が出てきたりする可能性があります。

その際、各ブレイクアウトルームに一齐にメッセージを送信できる機能を使って、全体にアナウンスすることがおすすめです。今一度話してほしいテーマについて送信するなど、効果的に活用できるはずです。

また、ヘルプ機能を活用し、各ブレイクアウトルームの参加者からホストに対して通知ができることも、事前に説明するのもよいでしょう。困ったことや質問が出てきた場合に、ヘルプを出してもらうと、ホストとしては進めやすいですね。

通信環境を整備しましょう

オンラインでのグループワークの実施にあたって、通信環境を整えることは大切です。

通信速度が異常に遅い場合、グループワークに支障が出てきます。ホストだけでなく参加者にも通信環境を今一度確認してもらうのをおすすめします。

まとめ | ブレイクアウトルームをフル活用して効果的なグループワークを

今回はZoomでグループワークができる「ブレイクアウトルーム」についてご紹介しました。

ホストである主催者は、より会議やイベントがスムーズに進むように事前準備をしっかりとっておきましょう。ブレイクアウトルームは開催中にも設定できますが、意図的にグループの参加者を調整したい場合は、事前に割り当て設定しておくのがよいです。

Zoomの無料プランでもブレイクアウトルームは利用できますが、Zoomミーティングへの参加者が3人以上の場合、40分でミーティングが終了してしまいます。有料プランを検討してみてもいいですね。

満足度91%！
プロ講師が教える、Zoom導入検討者必見セミナー

ご不明点はございますか？



こうした疑問を解消するのがZoomの無料Webセミナー「満足度91%！プロ講師が教える、Zoom導入検討者必見セミナー」です。Web会議のクラウド市場で13年連続シェアNo.1※としての実績をもつバイキューブが、

- ✓ 会議？商談？セミナー？利用シーンに合わせたおすすめプラン
- ✓ 安全性が心配？Zoomのセキュリティを高めて安全に使う方法
- ✓ 無料プランから有料プランへ切り替える際に知っておきたいポイント
- ✓ Zoom最低価格に挑戦！Zoomのお得な購入方法

について、Web会議のプロフェッショナルであるバイキューブの社員がお伝えします。

※株式会社シード・プランニング「2020 ビデオ会議/Web会議の最新市場とビデオコミュニケーション機器・サービス動向」

Zoomの導入やご購入をご検討中の方は、この機会にぜひご参加ください。

[導入セミナーへのお申込みはこちら](#)



V-CUBE

｜ 著者情報 バイキューブ

バイキューブは映像コミュニケーションの総合ソリューションプロバイダとして、世界中どこにいても働ける働き方・環境の実現を目指しています。創業時よりテレワークを活用し、2016年には総務省「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」に選出されました。

関連記事



Zoomでオンラインイベントを開催！事前に押さえておくべき運営ノウハウ集



学校・教育機関向け「Class for Zoom」の機能を解説。オンライン授業はどう変わる？



Zoomの機能を用いてアプリを開発できる！Zoom SDKの基礎知識



「Zapps」でZoomが他社アプリとの連携！気になるサービスの概要や利用方法

Zoom ミーティング

プラン・価格

Zoom ウェビナー

活用ノウハウ

Zoom Rooms

セミナー情報

ご活用事例

About us

株式会社バイキューブ

〒108-0072

東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラ

チナタワー16階（受付）、17階

個人情報保護方針 | 運営会社

Copyright ©2021 V-cube, Inc. All rights reserved.

ご不明点がございますか？

